

ハワイ観測所自動車安全運転ガイドライン

Subaru Telescope Safe Driving Guidelinesの日本語版

1 目的

- 1.1 このガイドラインはハワイ観測所所有の車両に起因、または関連した車両の事故を未然に防ぎ撲滅するために作成されたものです。自動車を運転することは職員にとって重要な業務の一つです。ハワイ観測所は職員が自動車を安全に操作することを期待しています。交通事故は最も悲劇的な人命の喪失や、ドライバー、搭乗者、その他の人々を負傷させ、ハワイ観測所やその事故に関わった人々の財産にも損害を与えることがあります。1回の交通事故によって、ハワイ観測所のプロジェクトの継続に大きな影響を与える可能性があります。
- 1.2 運転手はすべての交通規則とハワイ観測所の自動車運転規則に従い、安全運転に努めなければなりません。ハワイ観測所は職員が自動車を安全に運転することを確認しなければなりません。ハワイ観測所は自動車のドライバーがその能力が十分であると認めた場合にのみ運転を許可します。もし、職員に重度の疲労や病気、または眠気、あるいは精神的に問題がある場合は、ハワイ観測所はその職員の状況を評価し、自動車の運転が可能かどうかを判断します。
- 1.3 ハワイ観測所所有の車両を運転する前には、あなたがマウナケア山頂施設まで運転するか、あるいは市街地だけを運転するかどうかに関わらず、筆記試験と実技試験に合格しなければいけません。（ハワイ州の運転免許証を持っている人または過去に持っていた人は筆記試験を免除されます）。このトレーニングは、筆記試験に合格した人、または筆記試験を免除され、運転実技試験に合格した人を対象にしています。そして、このトレーニングは、受講の後に講習内容を再確認したい場合にも適応されます。以下の説明は一般的なガイドラインに過ぎません。天候が悪い日にはもっと注意を払った手順が必要かもしれません。すべてのドライバーはこのガイドラインに沿った運転操作を守る事を要求されます。ドライバーとしての資格を保持するためには、2年毎にトレーニングを受けなければなりません。
- 1.4 運転資格の詳細については、ハワイ観測所自動車運転規則を参照してください。
- 1.5 Vehicle manager は岡 慎司、Vehicle assistant manager (A) は Tae-Soo Pyo 、Vehicle assistant manager (B) は神戸栄治です。

2 通常の運転

- 2.1 ハワイ観測所所有車を運転する前には、車の外観のチェックをしてください。何か問題を見つけた場合には、速やかにthe vehicle operation center (Roth 紀子934-5000) またはvehicle@naoj.orgに通知してください。発見や通知が遅れると、その後の処理が遅れ、多くの利用者に迷惑がかかります。
- 2.2 ドライバーと同乗者はハワイ観測所所有車に搭乗する際はシートベルトを必ず着用します。
- 2.3 運転者は運転中に携帯電話を操作してはいけません。

- 2.4 交通ルールに従ってください。
- 2.5 黄色の道路交通標識に表示されたカーブを通過する時の制限速度を確認し、カーブへ侵入する前に速度を調整しておきます。
- 2.6 道路の横には小さな緑色のマイルマーカの標識が建てられています。このマイルマーカ標識は事故や体調不良者が発生した際に、自分のいる場所を救助者に知らせる時にとっても役に立ちます。
- 2.7 前方と後方の交通状況にも注意を払ってください。
- 2.8 安全な運転速度はいつも同じとは限りません。自動車の位置、荷物、天候、運転時刻、道路の状況、自動車の種類、視界、運転手の技能、そしてドライバーの状態によっては、表示された速度よりも遅い速度で走行しなければならないこともあります。下り坂を走行する際にはとくに加速に注意します。OMKMはハレポハクから山頂施設間の道路を走る自動車の速度チェックを実施しています。その結果は各観測所のセーフティオフィサーに送付されます。制限速度の25mphを5mph以上超えて走行した場合は、セーフティオフィサーより警告が通知されます。警告を受けた後にも制限速度を超える運転を繰り返す場合には処分が下されることがあります。
- 2.9 ハワイ観測所の車を運転しているときに発生したスピード違反や交通規則違反については、運転手の責任とします。
- 2.10 追い越しをする時は最善の注意をしてください。ハワイ観測所は車の追い越しをしないように強く推奨しますが、もしあなたが追い越しをしなければならない場合は、掲示されている制限速度内で走行しているか、対向車はいないか、前方に十分な距離があるかどうかを確認してください。対向車線の車線が2つある場合で、対向車がいる場合には、中央線を越えてはいけません。対向車線の車両が車線変更をするかもしれません。また、一度に複数の車両を追い越してはいけません。
- 2.11 多くの交通事故はスピードの出し過ぎの際に起こっています。常に運転速度について注意を払い、安全な速度を維持します。もし、運転中に疲れを感じ、運転を交代する同乗者が一人もいない場合は、安全に車を停車出来る場所をみつけて休憩をとってください。そして、安全に運転ができると感じるまで休憩を続けます。もしくは、疲労や眠気がなく、尚且つ、ハワイ観測所の車の運転を許可されている同乗者がいる場合は、運転を交代するよう頼みます。
- 2.12 携帯電話は車のシガレットライターに差し込まれている充電器に接続しておいてください。その携帯電話の使用目的は、事故や何か問題が起きたときの連絡のために使用するものです。
- 2.13 もし、運転中にタイヤのパンクや機械的な故障や問題に遭遇した時は、落ち着いて、車が駐車出来る平坦な場所を探し、ハザードランプを点滅させたうえで出来るだけ道路から離れた場所に駐車します。Vehicle operation center へ電話をし、起こった出来事を直ちに報告します。携帯電話で車内から連絡を取る際は、車は停車させエンジン切っておきます。
- 2.14 目的地、出発/到着時間、ドライバーの名前、同乗者の名前を記録するために、各車には白いバインダーを載せています。目的地に到着したときには、その記録簿を完成

させます。そのバインダーには、緊急連絡網、オペレーションセンターの電話番号、その他の重要な連絡先も記載されています。

2. 15 パンクしたタイヤの交換をするときは、可能な限り平坦な場所に車を停車します。パンクしたタイヤ側を高い地面のほうに置いてください。低い地面にあるタイヤを持ち上げようとする、車両の重量が過大になり、ジャッキが倒れる可能性があります。ジャックの正しい配置をスペアタイヤの取り外し方法については、車両のオーナーズマニュアルを参照してください。
2. 16 ドライバー/同乗者の安全と運転の記録を残すためにドライブレコーダーが各車両には装備されています。運転手はそのレコーダーが確実に作動しているかどうか運転を始める前に確認してください。Vehicle Managerの許可なしに、ドライブレコーダーの設定を変更したり、スイッチを切ったり、カメラの向きを変えたりしないでください。
2. 17 ハワイ観測所所有車にはエアバッグが装備されています。エアバッグが適切に作動するために、運転手のみではなく、同乗者も車の座席には正しく座ってください。足を床に付け、座位を保ち、シートベルトをきちんと腰の位置で締めて下さい。足をダッシュボードの上に乗せないでください。
2. 18 ハワイ観測所所有車の車内での飲食は禁止してはいませんが、飲み物は蓋の付いた容器のものを使用してください。車内にこぼした場合には責任を持って拭き取ってください。

3 事故の場合

3. 1 人命の喪失、怪我、財産/車両の損外額が3,000ドルを超えるとき
 3. 1. 1 すぐに運転をやめる。他の車両の通行にも注意し、交通の妨害をしない。
 3. 1. 2 エンジンを切る。火災を防ぐ。
 3. 1. 3 負傷者の援助をする。そして、911に電話をする。
 3. 1. 4 ライセンスナンバーを必ず確認する。事故に関わった車のメーカー、車種についても確認しておく。
 3. 1. 5 事故に関わった当事者、負傷者、目撃者の氏名、住所を確認しておく。
 3. 1. 6 事故の起こった時の車の位置や状況、他の車の位置なども含めて、簡単に絵に描いて残しておく。
 3. 1. 7 可能であれば、写真をとって残しておく。
 3. 1. 8 事故の解決策について早急に承諾しないこと。(その場で示談に応じないこと)
 3. 1. 9 保険会社に報告する (Noguchi & Associates, Inc. at (808) 596-2700).
 3. 1. 10 ハワイ観測所緊急連絡チーム (ECT) に電話をする (934-5911)。
 3. 1. 11 「SUBARU TELESCOPE SAFETY, HEALTH AND ENVIRONMENT REPORT」用紙に必要事項を記入し、事故発生から24時間以内にSafety Officerに提出する。

- 3.1.12 RCUHスタッフが事故に関係した場合、Supervisorは「RCUH' S SUPERVISOR' S REPORT OF INDUSTRIAL INJURY」用紙を完成させ、事故発生から24時間以内にハワイ観測所HR部署へ提出する。
- 3.2 生命の喪失または傷害を伴わない事故、または、財産/車両の被害額が3,000ドルを超えない事故の場合。
 - 3.2.1 事故の起こった時の車の位置や状況、他の車の位置なども含めて、簡単に絵に描いて残しておく。
 - 3.2.2 可能であれば、写真をとって残しておく。
 - 3.2.3 通常の勤務時間中はthe vehicle operation center (Roth 紀子934-5000)へ電話をする。時間外は ハワイ観測所緊急連絡チーム(934-5911)に電話をする。
 - 3.2.4 車両の運転に不快感がある場合は、the vehicle operation center (Roth紀子934-5000) またはECTに連絡をし、代替輸送の手配を依頼する。
 - 3.2.5 「SUBARU TELESCOPE SAFETY, HEALTH AND ENVIRONMENT REPORT」用紙に必要事項を記入し、事故発生から24時間以内にSafety Officerへ提出する。

4 山麓施設での作業:

- 4.1 NAOJウェブサイト内のハワイ観測所車両予約システムを使って車の予約を行います。
- 4.2 単独での運転は避けてください。少なくともドライバーの他に一人の同乗者がいるように予め手配をしておいてください。もし、一人で運転して山頂施設へ行かなければならない場合は、誰かモニターを指名してください。山頂施設以外、例えば、ヒロ市街地、ワイメアなど一人で運転していく場合にはモニターを指名する必要はありません。モニターとして指名される人は、ハワイ観測所のスタッフかまたは成人でモニターとしての手順を理解している人に限ります。山麓施設を出発するとき、山頂施設へ到着したときは、モニターに報告します。もし、モニターが到着の連絡を受けない時や、運転が目的地に着いたかどうか確認が出来ない場合は、モニターは山頂施設または、運転手が行く予定となっていた他の目的地へ連絡をとり、無事に到着したかどうかを確認しなければなりません。運転手の到着を確認できない場合は、モニターはEmergency Contact Team (ECT: 934-5911)へ報告をしてください。
- 4.3 ハワイ観測所自動車予約システムは走行の記録としても利用されるので、運転手の名前は正確に入力します。” Day Crew” や” TED” のように各部門の名前で予約をしている場合は、当日の運転を開始する前までには実際に運転をする人の名前を入力しておきます。
- 4.4 ハレポhakから上の道路の状況が悪いと予想される場合は、MKSS Road Condition (935-6268) へ電話をし、道路の状況を確認します。
- 4.5 自動車予約システムに使用しているパソコンの下棚から、携帯電話、横のキーボックスから車の鍵を取ります。
- 4.6 キーボックスの横に設置してあるパソコンを使用し、ハワイ観測所自動車予約システムに同乗者の氏名を入力し、出発時間をクリックします。

- 4.7 タイヤ、タイヤチェーン、他の付属品を確認します。ヘッドライトスイッチ、方向指示器、ワイパー ジャッキの場所を運転前に確認しておきます。なんらかの警告灯が点灯している場合や車両のどこかに問題がある場合は、Vehicle team (vehicle@naoj.org)、the vehicle operation center (Roth 紀子934-5000) または Vehicle assistant manager (B)に速やかに報告をします。
- 4.8 出発前には燃料タンクの残量を確認します。残量が半分以下の場合は、ガソリンスタンドで給油します。ハワイ観測所が提携しているガソリンスタンドはカウマナ通り360にあるHele給油所です。給油カードはハワイ観測所の各自動車に1枚ずつ割り当てられていて、そのカードは運転記録簿の中のポーチに入れてあります。指定自動車運転者には個人の認証番号 (PIN) が与えられます。その認証番号 (PIN) は通常はその指定自動車運転者の内線番号の末尾4桁となりますが、内線番号を持たない一部のスタッフやビジターには違う認証番号 (PIN) が与えられます。内線番号を持たない人はハワイ観測所の会計スタッフから認証番号を取得してください。
 - 4.8.1外にある給油パネルで“Enter Loyalty #”が表示されたら、横にある矢印をクリックして、ガソリンカードに貼ってあるLoyalty番号を入力する。
 - 4.8.2ガソリンカードを挿入する。
 - 4.8.3“Odometer”には、公用車の番号 (例：J-8の場合は、8) を入力する。
 - 4.8.4“Driver ID”には、ドライバーPIN番号を入力する。
 - 4.8.5“Yes”をクリックしてレシートをプリントする。(レシートは一枚しかプリントされないのでお店の人に渡さず持ち帰る。)
 - 4.8.6レシートに公用車番号と名前を活字で書いて、山麓施設内の公用車の鍵キャビネットの横に設置してある“Gasoline receipt”ボックスにレシートを入れる。
- 5 山麓施設からハレポハクまでの運転
 - 5.1 山麓施設からサドルロード/ダニエルKイノウエハイウェイを走行しハレポハクまでの間には、35、40、45、55、そして60mphの法定制限速度があります。Mauna Kea Access Road の制限速度は 30, 40 mphとそれぞれ場所によって決められています。
 - 5.2 スピードの出し過ぎは、サドルロードでの多くの事故の原因です。運転中はスピードメーターを観察し、安全な速度で走行することを心がけて下さい。気象状況や道路状況には注意を払い、それらの状況は急に変化を来す場合があることも理解しておいてください。
- 6 ハレポハクに到着：
 - 6.1 ハレポハクの駐車場内の決められた場所に駐車します。
 - 6.2 ハレポハク施設のメインロビーには白い掲示板があります。その掲示板には、気象情報、雪や氷の有無、タイヤチェーンの必要性などの情報が掲示されます
 - 6.3 ハレポハクの施設の中にはハワイ観測所の事務所があります。その室内に設置してあるパソコンを使い、自動車予約システム上で自分が運転してきた車両の到着時間、山頂へ向かう場合には、出発時刻をクリックします。山頂で8時間未満の滞在を予定し

ている場合は、山頂への運転を開始する前には、少なくとも30分以上の休息をハレポハクで取らなければなりません。

- 6.4 衛星電話（国番号：8707を押しその後7640-4784）はハレポハク内のハワイ観測所の事務所に置いてあります。この電話は夜間の勤務者がハレポハクから山頂施設への移動の際の緊急連絡用に使用します。山頂への道路状況や気象状況が悪く、ハレポハクから山頂までの移動中に交信手段が必要だと確信する場合にはその衛星電話を日中にも使用することが出来ます。その場合は、必ず夜間の勤務者にその衛星電話を持ち出すことを伝えてください。
- 6.5 ガソリンはハレポハクでも給油することが出来ます。クリップボードにくくりつけられた給油機の鍵をハレポハクのカウンターから持ち出します。給油所は、ハレポハクのメインの建物の上方にあります。メーターノブをゼロにもどし、給油機の鍵をその鍵で解除します。給油機のソケットにあるレバーを自分の方に倒し、給油をはじめます。そのクリップボードの用紙に氏名、車の名前、ナンバー、給油したガロン数をはっきりと読める文字で記入します。給油が終わったら、レバーを戻し、給油ノズルを給油機に戻します。鍵を閉め、その鍵とクリップボードはフロントデスクへ戻します。

7 ハレポハクから山頂施設までの運転：

- 7.1 ハレポハクから上の舗装されていない道路は4WD で走行します。（4WD high range or 4WD low range）
- 7.2 4WD low rangeにシフトチェンジをする時には、車を一旦止めて、ギアをニュートラルに入れます。シフトを2WDから4WD High Rangeに変える時は、車を止める必要はありません。舗装されていない道路は4WDで走行します。4WDのシフトの切り替え方や用途については車両のマニュアルに従ってください。
- 7.3 4WD 走行は舗装されていない道路での使用を推奨しますが、氷や非常に濡れた道路状況の際にも使用することを勧めます。2WDにシフトチェンジするときは舗装された道路及び乾燥した道路で行って下さい。4WDは加速を助けるための機能であり、車両を停止を助けるものではありません。凍った滑りやすい路面に対してはタイヤチェーンを装着しスピードを落として運転してください。
- 7.4 山頂の道路と舗装されていない道路は25 mphの速度制限の表示がされています。Submillimeter Arrayの近くからハワイ観測所山頂施設までの道路は、5 mphの制限速度が表示されています。それぞれの制限速度の指示に従って走行して下さい。
- 7.5 日の出の直後は東の斜面から見える太陽の光に向かって運転するので、とても運転しづらい状況になります。同じような状況が西側に向かって運転する日没の際にも起こります。対向車はこのような状況ではありません。この時間帯に走行する際は特に注意をしてゆっくり走行してください。
- 7.6 ” KEEP RIGHT” サインは道路の右側を走行するという意味です。常に道路の右側を走行してください。路面補修車も右側通行をしています。後方の車両に気づかないこともあるので、注意をして走行してください。

- 7.7 下り坂、登り坂をローギアで走行する場合はエンジンの温度計と回転速度計を観察してください。エンジン回転数が高くなると、エンジンが過熱し、エンジンが損傷する可能性があります。
 - 7.8 山頂の道路で対向車とすれ違う際は特に注意をしてください。他のドライバーはあなたにそのつもりがなくてもあなたが粗暴な運転をしていると感じるかもしれません。他のドライバーからの苦情は通常、OMKMまたはMKSSから各観測所所長へ報告されます。苦情は調査の対象となり、運転手は懲戒処分の対象となります。前方の車両の指示があったときのみ、その車両を追いつことができます。
 - 7.9 夜間に山頂区域を運転する際には、ロービームのヘッドライトを点灯してください。
 - 7.10 山頂施設の駐車場に二重駐車（別の車両の前後に駐車しないでください）しないでください。二重駐車は、緊急時に迅速な避難が困難になることがあります。
 - 7.11 山頂施設の駐車場では自動車をバックで停めることを推奨します。自動車をバックで停めるのは以下の利点があります。
 - 7.11.1 あたりが暗くなってから、しかも仕事後の疲労が出現しやすい時間帯にバックで自動車を動かすよりも事故のリスクが低いと考えられます。
 - 7.11.2 バックで車を駐車することにより、非常時にはより敏速に自動車を動かすことが出来ます。
 - 7.12 山頂施設に到着したら、制御棟のスタッフルームに設置してある自動車予約システムの到着時間の箇所をクリックしてください。自動車予約システムに使用しているパソコンの横の箱に自動車の鍵を置いて下さい。一人で運転してきた場合は、モニターに到着したことを報告してください。
- 8 山頂施設から山麓施設までの運転：
- 8.1 山頂施設から出発するときは、制御棟のスタッフルームの自動車予約システムで出発時間の箇所をクリックします。表示されている制限速度に従って走行してください。
 - 8.2 夜間に山頂区域を運転する際には、ロービームのヘッドライトを点灯してください。
 - 8.3 舗装されている道路や乾いた道路では2WD で走行してください。ハレポハクまでの舗装されていない道路は4WD low rangeで走行し、シフトレバーでローギアに切り替えペダルブレーキを使いすぎないように、エンジンブレーキを利用しながら安全な速度で走行してください。制限速度は25 mphです。
 - 8.4 ハレポハクから下の最高17%勾配の舗装された下り坂は2WD低速ギアを使用して走行します。ブレーキローターとパッドの過熱による破損を避けるために、より低いギアにシフトしてエンジンブレーキをかけます。
 - 8.5 サドルロードの下り坂を運転することは上り坂を運転することより危険です。サドルロードの下り坂の運転中は、後方車が自分の車に近づいてくることがありますが、あなたの車の速度を上げないようにしてください。安全な速度を維持して走行してください。たくさんお車があなたの後方にいて、自分の車の追い越しをさせた方が良く感じるときは、前方の安全を確認し、方向指示器で早めに合図をし、車を安全な場所に寄せて駐車し、後方車を先に通行させてください。

- 8.6 次にその車両を使用するドライバーのために、山麓施設へ到着するときの燃料の残量が半分以下を示す場合は給油をしてから車を戻すようにしてください。
- 8.7 車両を山麓施設へ返却する時は、個人の持ち物や携帯電話は車から降ろしておいてください。各車両に置いてある運転記録簿に必要事項を記入し、ヘッドライトを消しドアをロックしてください。車の鍵と携帯電話は物の場所に戻してください。自動車予約システムの到着時間をクリックします。

9 冬場の運転

- 9.1 Summit Access Road を運転する場合は、タイヤチェーン装着のトレーニングを受けなければなりません。
- 9.2 悪条件の道路では運転技術を過信しすぎないでください。タイヤチェーンを装着することや、山頂への運転をキャンセルする決定は適時になされるべきです。そうすればあなたがそうしないことへ義務を負うことはありません。
- 9.3 単独で運転をするのは避けてください。単独で運転することは、眠気を引き起こしたり、事故発生時の報告の遅れにつながります。夜間観測については、オペレーター、サポートアストロノマー、観測者は少なくとも一人の同乗者とともに車両を運転するように調整してください。
- 9.4 夜間の作業員は（オペレーターとサポートアストロノマー）少なくとも2台の車両を使用して山頂施設へ向かいます。これは安全の保持のためです。
- 9.5 9.3 と 9.4は、夜間オペレーターの数とビジターの数4人未満の場合には競合します。このような場合には、2台の車両を使用します。そして、安全を確認するために、2人でチーム（Buddy System）を作ります。Buddy systemは1台の車両のドライバーが、ほかの車両のドライバーの監視をします。
- 9.6 ドライバーおよび同乗者の安全が保証され、オペレーターがそれを承認する場合に限り、例外は許可されます。オペレーターは夜間の作業の安全を担当しています。単身運転者が安全を確保する方法を以下に示します。ドライバーが山頂施設を去る前に、山頂施設やハレポハクに滞在している夜間オペレーターにこれから山頂を去ることと、ハレポハクに到着したときには連絡をすることを伝えます。運転手が夜間オペレーターに適切な時間内に連絡をしない場合は、（例えば40分程度）、夜間オペレーターはドライバーに電話またはドライバーの目的地に電話をかけ、搜索態勢を開始します。到着が確認できない場合は、ハワイ観測所緊急連絡チーム(Emergency Contact Team : 934-5911)に報告をします。
- 9.7 スタッドタイヤを装着していない車両のドライバーは下記の場合はチェーンを装着します。
 - a. 昼間または夜間のいずれの時点においても、山頂の湿度（VLBA以上の標高において）が90%以上で、山頂の温度（VLBA以上の標高において）は-1度未満であるとき。
 - b. または、レンジャーがチェーンの装着を推奨した場合。

- 9.8 日の出の前に、山頂の舗装道路に雪や氷が降り積もると、スタッドタイヤを装着していない車両はチェーンを装着が必要です。山頂で雪や氷の可能性が高い場合は、山頂まで運転をする前にハレポハクでチェーンを装着する方が賢明です。
- 9.9 レンジャー、ハワイ観測所、他の観測所のスタッフのいずれから、道路は乾燥しているという報告を受け取った場合は、その後の温度と湿度が上記の値を超えない限り、チェーンを装着する必要はありません。
- 9.10 摩擦力を高めるために、運転手はスタッドタイヤの上に、チェーンを装着することができます。
- 9.11 タイヤチェーンをどのタイヤに装着するかは、その車両のマニュアルを参照してください。例えば、トヨタの4ランナーはのオーナーズマニュアルには、タイヤチェーンは両後輪に装着するように書いてあります。
- 9.12 スタッドタイヤが装着されていない車両は、ドライバーがチェーンを装着するかどうかを決定する責任があります。スタッドタイヤが装着されていない車両のドライバーがチェーンの装着を決定した場合は、その車両に続いて通行するすべての車両についてもチェーンを装着します。
- 9.13 Tire-gripと呼ばれる氷に対してタイヤの摩擦力を増加させるスプレー缶は、山頂施設制御棟1階とハレポハクの機械/車両工場の壁面にある黄色のFlammable Cabinetに保管してあります。スプレーの性能を過信しすぎずに、スプレーの効果が不明な場合は代わりにタイヤチェーンを使用してください。昼間は車内にスプレー缶を放置しないでください。スプレー缶は過剰な熱で爆発する可能性があります。
- 9.14 冬の時期は(通常9月から3月)、2台の車両が夜間の観測のために山頂施設へ行く職員のために使用されます。指定された2台の車両は、ヒロでの定期的な車両点検の時以外はハレポハクに常駐しています。そして、その2台の車両は冬の期間はスタッドタイヤが装着されています。夜間作業従事者の山麓施設からハレポハクまでの移動には通常のタイヤが装着された車両を使用します。
- 9.15 2台の車両がスタッドタイヤを装着している間は、山麓施設とハレポハクの間の移動のために2台の車両がレンタルされます。この2台の車両は、限られたドライバーのみが保険に加入しています。この2台の車両を運転する際は、あなたが運転が出来るかどうかをオペレーションセンターに確認します。

10 荷物の輸送

- 10.1 ドライバーは、ドライバー自身が積み込み作業やその荷物を見ることを明らかに禁止されている場合を除いて、その車両に積まれた荷物を安全に輸送する責任を負います。運転手は、誰か他の人に運転を引き継ぐまで、誰か他の人が荷物を降ろすまで、または他の人がその荷物の取り扱いと安全を引き継ぐまでは、荷物の安全な取り扱いと安全を守る責任があります。運転者が荷物を乗せた車両の運転から離れた場合でも、運転者は上記条件の1つが満たされるまで荷物の安全な保管と安全の責任を負います。

- 10.2 明らかに内容物の公表が禁止されていない限り、運転手は車両またはトラックの中身を知る必要があります。荷物が危険物の場合、運転手は各車両に装備されている緊急時対応ガイドブックから、その危険物質の情報をを見つけることが出来なければなりません。
- 10.3 輸送物を示すプラカードを車両に掲示することがDepartment of Transportation によって決められているような有害物質を大量に輸送することは禁止します。
- 10.4 減圧弁を備えたシリンダーや大量の圧縮ガスおよび冷却用のガスは、トラックの荷台に積み込んで輸送しなければなりません。それらを車室内に保管すると、酸素欠乏の原因となる可能性があるため禁止されています。
- 10.5 有害廃棄物の輸送に関連するマニフェストの文書の整備や、すべての要件についての責任を明確にしない限り、有害廃棄物の輸送は禁止されています。ハワイ観測所では有害廃棄物の輸送については専門の処理会社に委託します。詳細については、会計部門または安全担当者に問い合わせてください。
- 10.6 J-8の運転は特別な講習を修了した者のみ運転できます。

11 ドライブレコーダー

- 11.1 バックミラー一体型のドライブレコーダーが全車に搭載しています。ドライブレコーダーの目的は、車両の周りでの人々の活動を記録し、その人とドライバー/同乗者のやりとりを記録することです。ドライブレコーダーは、イグニッションキーをACCまたはオンの位置にすると、ビデオと音声の両方の録音を開始します。カメラが作動しているときはLEDライトが緑色に点滅します。カメラが作動すると、まずバックミラーの表面に撮影中の画像が現れます。そのままではバックミラーが見にくいと感じる方は、MODEボタンを押すと表面の画像は消えます。録画はこのドライブレコーダーにはLCD画面が内蔵されており、メモ리카ードに記録されものを見ることができます。カメラの位置を動かしたり、ドライブレコーダーの充電器を抜いたり、設定を変更したりしないでください。ドライブレコーダーのマニュアルはダッシュボードに入って

います。ドライブレコーダーに異常や問題を発見した場合はvehicle@naoj.orgへ報告



します。

- 11.2 カメラの画像は1つは前方を、もう一方は左前方を写すように設定されています。カメラを動かしたときは元の位置に戻しておいてください。（下記の図を参照してください）



- 11.3 ドライブレコーダーは音声も録音されます。同乗者にも音声録音されることを通知してください。内蔵カードに記録された画像と音声は、事故の検証の際にのみ、再生されます。ほとんどの場合は、このカードに記録されたデータはそのカードのメモリがなくなった時に、新たに記録のスペースを確保するために自動的に消去されます。

ハワイ観測所自動車安全運転トレーニング 修了の確認証

私は、インストラクターの指導内容を理解し、安全運転ガイドラインの説明を読み理解しました。私は、ハワイ州の交通ルールや法律を理解し、ハワイ観測所自動車運転規則についても理解しました。

2023年01月11日付自動車運転ガイドラインを適用。

受講者氏名 _____

署名 _____ 日付 _____

講師氏名 _____

署名 _____ 日付 _____